

## 【代表的な研究テーマ】

# 地域の食や防災をテーマとした体験型教育旅行や普及教材の開発 ～持続可能な開発目標 (SDGs) に関する取組み支援～

Keyword : SDGs、教育、旅行、食、防災意識

### 研究の概要

本研究では、地域と学校教育をつなぐさまざまな活動を行っています。



生産地と工場見学の  
総合コーディネート (イメージ)

## 1. 食の教材化と教育旅行の開発

食と深く関わる一次産業の振興には、地域活性化を中心として、消費者保護や雇用機会の創出、再生エネルギー普及など様々な課題が相互に関係しあっています。それらの全体像を通して初めて、食や一次産業の価値が理解されます。

生産・流通・消費という食にまつわる一連の流れをたどりながら、持続可能な地域社会づくり(SDGs)につながる体験型の教材および教育旅行を共同開発します。

## 2. 防災意識向上のための教材開発・教員研修

自然災害に対する防災意識の向上は急務の課題です。

地域の実態に即したケーススタディーを積み上げることが重要ですが、それとともに、新たな視点からの防災を見つめなおし、「慣れ」や「飽き」からの脱却が求められています。

本研究では、静岡河川事務所、静岡地方気象台、静岡県庁等と連携し、地元密着型の防災教育を行っています。

特に、近年の異常気象に対して有効な、スマートフォンやPCを用いた最新の防災情報の収集トレーニングにも対応しています。



防災情報教材 (テレはず2017年12月11日放送)

### アピールポイント

#### ・特筆すべき研究ポイント：

本研究は、国連が定めた「持続可能な開発目標」(SDGs)の考え方を基礎としています。この考え方には、多方面にわたる様々な活動を「つなげる」「可視化する」といった強みがあります。

各種の事業は、業界や組織全体を見通しながら展開されるべきですが、実際には縦割りの専門性の中で日々展開されています。ここに、「教育」という“色のついていない”中間的なアクターを介させることで、双方の意思疎通のきっかけや、健全な広報の役割を持たせることができます。

またその成果は、教員研修の機会でも積極的に活用されます(教員免許状更新講習など)。

「学校の先生にまずは知ってほしい」という場合には、自主研修よりも参加率の高い免許状更新講習でのプログラム化が有効です。



国際連合広報センターより

## ■ 相談に応じられる関連分野

- ・自然と人間社会が交わる領域(1次産業や観光など)の教材化・教育プログラム化
- ・地域社会と学校教育の連携促進
- ・教員研修(主に教員免許状更新講習)
- ・海外の環境教育/ESD/SDGsの動向調査

## ■ その他の社会連携活動

- ・日本ジオパークネットワーク運営会議 教育ワーキンググループリーダー
- ・伊豆半島ジオパーク 教育部会 委員
- ・日本地理学会地理オリンピック実行委員
- ・地域の自然と社会のつながりに関する研究



山本 隆太

教職センター  
特任准教授